

かぐらおが

(題字は初代学長 山田守英氏)

第118号

平成16年 9月30日

編集 旭川医科大学
 教務・厚生委員会
 発行 旭川医科大学教務部学生課



旭 橋 ～台風一過秋の空～

(写真撮影 学生課 齋藤嘉光)

卒業生の動向 (医学科)	2	節電に御協力をお願いします.....	6
卒業生の動向 (看護学科)	3	夜道の一人歩きは危険!!	6
日本学生陸上競技対校選手権大会.....	3	第51回北海道地区大学体育大会.....	7
全日本大学かるた選手権大会 準優勝.....	3	第47回東日本医科学生総合体育大会.....	7
「医大祭を終えて」.....松崎 伸幸.....	4	患者さんのための音楽による医大祭.....	8
「東医体夏季競技を終えて」... 民谷健太郎.....	4	博士学位記授与式.....	8
学生等のセクシュアル・		合唱部サマーコンサート.....	8
ハラスメント相談員.....	5	音楽の夕べ.....	8
オレオレ詐欺や架空請求にご注意.....	5	クラブ今昔 (女子バレーボール部)	9
授業料滞納による除籍について.....	5	クラブ今昔 (華道部)	9
課外活動用の洗濯機及び乾燥機が		更衣室・シャワー室を物置にしないで.....	10
設置されました.....	5	教員の異動.....	10
防災訓練を実施しました.....	6	窓外.....	10
学生体育大会開催される.....	6		

◆ 卒業生の動向 (医学科) ◆

◆ 卒業生の動向（看護学科） ◆

日本学生陸上競技対校選手権大会

7月3日（土）に国立霞ヶ丘競技場において第73回日本学生陸上競技対校選手権大会（主催財団法人日本学生陸上競技連合）が行われ、男

子3000m障害個人戦において本学医学科第4学年 榊原 学 君が、第6位（8分53秒69）の成績を納めました。

全日本大学かるた選手権大会 準優勝

8月7日・8日に大津市 近江神宮勸学館において第11回全日本かるた選手権大会（主催社団法人全日本かるた協会）が行われ、昨年度本大会個人戦を優勝した本学医学科第2学年田原大地君が、今年度第48期クイーン位挑戦者の吉峰翼さんと決勝を戦い、惜しくも2連覇はならな

かったものの準優勝に輝きました。また、8月28日（土）に江戸川スポーツセンターで行われた、第67回全国かるた競技学生選手権（主催同上）においてこちらも3月の第66回大会に続く2連覇を目指しましたが、おしくも4位に入賞しました。

※お二人の健闘を讃えると共に、皆さんにお知らせします。（学生課）

医大祭を終えて

医大祭実行委員長 医学科4年

松崎伸幸

皆さんこんにちは。医大祭実行委員長の松崎です。医大祭から3ヶ月近く経った今、この原稿を書いています。思えば今年の学祭は僕が「委員長やるぜー！」という内容の学年メーリングリストを送る事から始まったような気がします。(去年の10月だったと思う)現在の医学科4年は東医体主幹の中心学年ということで、東医体の実行委員をしている人が30人位いました。それ以外の人も60人位いるわけですが、なかなか実行委員長をやる人はいなかったのです。「このままでは来年の学祭はナシか？」という空気が漂っていたと思います。そんな中、酒の勢いもあって自分は委員長になってしまいました。自分は頼りない人間なので、沢山の有能な人達を各チームに就けました。みんな非常に良く働いてくれ、とても感謝しています。毎年ある学祭をこんなにも陰で支えている人達がいるんだ、と驚きました。僕は各係りの仕事内容を全て知っているわけではありませんが、頭の下がる思いです。

今年の学祭は成功したの？ と聞かれる事がよくあります。何をもって成功した、成功しないを決めるのでしょうか。広告費が沢山集まった、ライブのチケットが1000枚売れた、当日トラブルもなくスケジュール通りに進んでいった、模擬店でビールが沢山売れた、恋の予感がした……みんな思い思いの事でしょう。僕は成功したと思います。僕が実行委員長をやって一番良かったな、と思う事は、みんなで色々考えて学祭を作り上げていく過程です。はっきり言って面倒な事や体力を使うことが沢山ありました。あ～損な事をしたな～と後悔することが多かったです。しかし学祭を終えた今ではそういうこと全部が眩しい思い出になっています。

最後になりましたが、今年度の医大祭を開催するにあたり、我々の試みを全面的に支援して下さいました大学関係者の方々、広告・協賛という形で御協力頂いた方々、そして御来場頂いた全ての皆様に心より御礼申し上げます。



東医体夏季競技を終えて

第47回東医体運営委員長

民谷健太郎

受話器の向こうは凄まじい強風だった。ぶおおおおおオオオオおおおお～。話し声も良く聞こえない。江ノ島は台風直撃のようである。ヨット競技の実行委員長は深刻に状況と今後の対応を報告している。夏季競技の先陣を切るヨット競技は台風のため開催が危ぶまれたのだ。せっかく今までこの日のために精一杯頑張ってきたのに、酷な仕打ちである。

屋外競技の最大たる宿敵は天候である。サッカー競技や野球競技をはじめとする『おそとの競技』は、おてんとうサマサマなのである。ヨット競技からの憂鬱な知らせに私は何もできなかった。これは日本古来より伝わる『てるてる坊主』しかないと思った。



でも、私には「ここで晴れてくれるとオイシイ」と思う場面で都合よくイイ天気にしてくれる精霊が憑依

ているので心配は要らなかった。案の定、ヨット競技だけではなく他の屋外競技も良い天気に恵まれ大きな事故も無く夏季競技を無事終えることができた。

私事だが、バスケットボール競技の会場に足を踏み入れたとき、その異様な熱気というか選手たちの緊張した空気というか、言葉では表せないような雰囲気を一身に浴びた。どこの選手も気合十分で、白熱した試合、勝利の歓喜、敗北の雪辱、どのシーンをとっても心を打たれずにはいられなかった。身を以って素晴らしい大会だなということを実感した。その一瞬、この大会を運営している人たちは偉い人と他人事のように感心した。(笑)

最近「東医体おつかれ～」と色々な人から声をかけてもらえるが、残念ながらまだまだ中間地点を折り返しただけに過ぎないのだ。10月には小委員会、11月には評議会・理事会を控えており、夏季競技の後処理や決算、第48回大会への引き継ぎなど、大きな仕事がたくさん残っていることを思うと国に帰りたくなる。

来年3月に行われるスキー競技最終日の閉会式をもって私たち第47回東医体運営委員の任期が終わる。最後まで気を抜かずこれまで同様精進しようと思う。

最後にこの場を借りて、今までお世話になった方々へ重ね重ね感謝の気持ちを申し上げ、乱筆ながら夏季競技の報告とさせていただきます。

学生等のセクシュアル・ハラスメント相談員

- 学生等のセクシュアル・ハラスメントの相談員は次の方々です。
- 任期は平成17年3月31日までとなっています。

☆一般教育	教授	林 要喜知
☆基礎医学	教授	高井 章
☆臨床医学	助教授	伊藤 浩
☆看護学科	教授	松浦 和代
	教授	服部ユカリ
	講師	升田由美子
☆保健管理センター		
	助教授	川村祐一郎
	保健師	藤尾美登世

(学生課)

オレオレ詐欺や架空請求にご注意

標記のことについてはTVや新聞で特集されるなど最近話題となり、本学学生課にも数件学生本人や連帯保証人等(父母)から問い合わせがきています。くれぐれも、学生証や保険証等個人情報に関するものについては保管を厳重にするなど、プライバシーの管理には今一段の配慮をしてください。

なお、不審電話や身の覚えのないメール等があった場合には軽率に行動してはいけません。学生課に確認することや学生本人と連帯保証人間できちんと事情を確認するなどくれぐれも慎重に行動してください。「まさか自分には関係ないだろう」という油断が一番の大敵ですので、これは「誰にでも今起こりうる危険」とまず認識してください。

また、日頃から親子間などで連絡を頻繁に取りあう、怪しいネットサイトにはアクセスしない、見覚えのないメールには返信しないなど、犯罪者に隙を与えないことが最も重要です。何かあったら一人で悩むのではなく、学生課もしくは最寄りの消費生活センターに気軽に相談してください。

(学生課)

授業料未納による除籍について

「かぐらおか」第116号にも掲載しましたが、授業料を2期滞納し所定の期日までに納入されない場合には、除籍することとなります。

この取扱いは、平成17年度から適用されますので、平成17年4月1日において授業料を2期以上滞納している場合、平成17年9月30日をもって除籍となります。

以後授業料納期である6か月ごとに適用されますので、授業料の支払計画をきちんと立てるようご注意ください。(学生課)

課外活動用の洗濯機及び乾燥機が設置されました

男子・女子両シャワー室に課外活動用の洗濯機及び乾燥機が設置されました。

電気の容量に注意するなど、各クラブでゆずりあい、丁寧に使用しましょう。

また、水回りに電気ですので、あくまでコード等の取り扱いに留意し感電等の事故に注意しましょう。



(学生課)

防災訓練を実施しました

9月6日(月)に旭川市消防本部の協力を得て、防災訓練を実施しました。

この訓練は、本年8月に改訂された災害対策マニュアルに基づき、11:59分旭川市南部を震源とする震度4の地震が発生し、その後学内で火災が発生したという想定で行われました。

地震発生直後、入院患者(模擬)、学生及び職員がそれぞれ指定避難場所に避難するとともに、学



長を本部長とする災害対策本部が速やかに設置され、その後本部長の指示のもと災害対策本部におかれた各班は、安否確認、施設の被害状況などの情報収集を行いました。また、病院玄関ホールの避難場所（救護所）では、初期緊急治療やトリアージ（患者の緊急度・重傷度により治療優先度を定めること）が行われました。更に今年度からは避難住民の受入要請に対応すべくボランティアセンターを設置し受入の対応が行われました。

引き続き、旭川市消防本部の担当者から消火器の操作方法及び防災に関する基本知識についての説明並びに今回の訓練についての講評がありました。訓練には、学生、職員合わせて約300名が参加し、参加者は、この訓練で避難場所や連絡体制及び避難にあたっての注意事項の確認をおこない、防災意識の高揚のため非常に有意義な訓練となりました。（学生課）

学生体育大会開催される

9月1日（水）に学生主催の学年対校体育大会が実施されました。

競技はバレーボール、バスケットボール、ソフトボール、サッカーの4種目。当日は台風の接近も予想され屋外種目の開催が危ぶまれましたが、なんとか天候に恵まれ、クラス一丸となって目標を目指し頑張る様子は、澁刺としたプレーと笑顔にあふれ大変有意義な一時となりました。日頃の勉学の疲れを吹き飛ばし、気分一新の1日になったのではないのでしょうか。（学生課）



◀ サッカー



▼ バレー



▲ ソフトボール

節電に御協力を お願いします

現在、大学で使われている電力等のエネルギーは膨大です。学内の電気機器の利用に当たっては、特性に応じた合理的な使用を心掛けるとともに、不要不急時はこまめに電源を切るなど、省力化・効率化を図るようお願いします。

- 講義室、実習室、セミナー室等、共用の部屋を最後に利用した人は、必ず照明を落としてから退室するよう心がけましょう。
 - 空調機のある部屋の室温については、28℃を目途に空調用電力の節減に努めましょう。
 - 休憩時間中の照明は極力消す等、不要時のこまめな消灯に心掛けましょう。
- また、パソコンやコピー機などのOA機器は、不要時には極力スイッチを切るようにしましょう。
- 電気製品の主電源が入りっぱなしになっていませんか？ 待機時の消費電力は小さくありません。リモコンでスイッチを切っても電力を消費する機器はたくさんあります。長時間使用しないときは、できるだけ主電源を切るようにしましょう。

（学生課）

夜道の一人歩きは危険！！

近頃緑が丘・神楽岡・旭神（特に旭神2・3条付近）で、夜女性の一人歩きを襲う不審者が目撃されています。女子学生はむろんのこと男子学生も夜道の一人歩きは極力避けるよう心がけてください。やむを得ずそのような状況になったときは、周囲にいつも以上に気を配り、帰宅経路も点検しながら用心して帰宅してください。また、日頃から防犯グッズを携帯するなど細かな注意も面倒に思わず、日々怠ってはいけません。

なお、怪しい人物を目撃した、危険な目にあった場合は隠すことなく学生課並びに警察に報告してください。あなたの注意が事件を未然に、そして自身の災難も防ぎます。

「毎日の用心と小さな勇気があなたの身体と心を守ります」

（学生課）

▶ 第51回 北海道地区大学体育大会

第51回（平成16年度）北海道地区大学体育大会は、室蘭工業大学が当番校となり7月1日（木）～12日（月）の日程で、道内各国公立私立32大学37単位大学から約3,700名の学生が参加し、室蘭工業大学を主会場として札幌国際大学、北星学園大学、北海道医療大学、酪農学園大学の協力と共に、室蘭市、登別市、伊達市、札幌市、江別市、当別町の22会場で行われました。

本学からは16種目に約180名が参加しました。

バレーボール（男子）が優勝を飾り、総合成績は男子が5位、女子が18位でした。

また、陸上競技個人で

- 200m(男子)で医学科1年光武 遼君が第6位
- 1500m(男子)で医学科3年柳町剛司君が第5位
- 走幅跳(男子)で医学科1年本谷康二君が優勝
- 100m・200m(女子)で看護学科1年井上朋美さんが各第3位
- 800m(女子)で医学科4年野崎綾子さんが第4位にの成績を収めました。

第51回(平成16年度)北海道地区大学体育大会成績表

		優勝	準優勝	旭川医大
総合	男子	道都大	北大・酪農学園	5位
	女子	旭教大	北大	18位
陸上競技		酪農学園	札幌大	9位
硬式野球		道東海旭	道都大	—
準硬式野球		札幌大	北大	
ソフトテニス		(室工大)	(北星学園)	
バスケットボール	男子	岩教大	酪農学園	ベスト16
	女子	旭教大	札幌大	ベスト16
バレーボール	男子	旭医大	函館未来	優勝
	女子	旭教大	武蔵女短	
サッカー		道都大	岩教大	
バドミントン	男子	苫駒澤大	北大	
	女子	旭教大	武蔵女短	
柔道		道都大	酪農学園	—
剣道	男子	北大	函館大	
	女子	苫駒澤大	北大	
弓道	男子	酪農学園	室工大	
	女子	札幌大	北大	
ハンドボール		道都大	北星学園	

▶ 第47回 東日本医科学生総合体育大会

第47回東日本医科学生総合体育大会（夏季大会）は、7月28日（水）～8月12日（木）の日程で本学を中心に、札幌医科大学、北海道大学医学部、弘前大学医学部の計4校が主管校となって開催されました。

本学からは29種目に約300名が参加しました。

- 今大会は バレーボール(男子) 優勝
- ゴルフ(女子) 優勝
- ソフトテニス(男子) 準優勝
- バレーボール(女子) 準優勝

の活躍で、総合3位となりました。

また陸上競技個人では、

- 200m(男子)に医学科1年の光武 遼君が第6位
- 1500m(男子)に医学科4年の榊原 学君が優勝
- 3000m障害(男子)に同じく榊原君が優勝
- 5000m(男子)に同じく榊原君が第4位
- 走幅跳(男子)に医学科1年本谷康二君が第3位
- 4×100mリレー(男子)で第8位
- 3000m(女子)に医学科4年の野崎綾子さんが第7位の成績を収めました。

ゴルフ(女子)

団体戦は3連覇という輝かしい成績を収めました。

個人戦においても

医学科5年松尾彩さんが本大会5連覇

医学科5年荒明由利子さんが第3位

医学科5年小杉瑞葉さんが第5位

それぞれ極めて優秀な成績を収めました。

第47回東日本医科学生総合体育大会成績表

本学参加分

種目	順位	優勝	準優勝	旭川医大
総合	男女部門	筑波大	東京女子医大	3位
	女子部門	東京女子医大	筑波大	4位
陸上競技	男	慶応大	新潟大	6位
	女	東京女子医大	福島大	
準硬式野球	男	自治医大	山梨大	5位
	女	横浜市立大	順天堂大	
テニス	男	東京女子医大	弘前大	
	女	自治医大	旭川医大	準優勝
ソフトテニス	男	岩手医大	北大	
	女	筑波大	群馬大	
卓球	男	信州大	群馬大	
	女	旭川医大	自治医大	優勝
バレーボール	男	新潟大	旭川医大	準優勝
	女	山梨大	東大	4位
バドミントン	男	筑波大	東京女子医大	
	女	筑波大	東京女子医大	
サッカー	男	筑波大	日大	
	女	北大	聖マリアンナ	5位
バスケットボール	男	東京女子医大	北里大	
	女	札幌医大	東京医大	3位
剣道	男	弘前大	札幌医大	3位
	女	福島大	旭川医大	
弓道	男	東邦大	札幌医大	3位
	女	千葉大	順天堂大	
水泳	男	東京女子医大	千葉大	
	女	東邦大	北大	
ゴルフ	男	旭川医大	東京女子医大	優勝
	女	岩手医大	自治医大	
ハンドボール		弘前大	慈恵会医大	8位
空手	男	組手	札幌医大	東京医大
		型	弘前大	新潟大
	女	組手	防衛医大	筑波大
		型	山形大	独協医大

患者さんのための 音楽による医大祭

本学室内合奏団によるロビーコンサートが6月12日（土）15時から附属病院正面玄関ロビーにて開催され、間近にしながら医大祭を見に来られない入院患者さん達のために、弦楽コンサートが贈られました。

様々なジャンルの曲を日頃の練習の成果が垣間見られる、さわやかな演奏に、ほぼ満席となった



会場の多くの聴衆から惜しめない拍手が送られました。（学生課）



博士学位記授与式

平成16年度博士学位記授与式が、6月30日（水）午前10時から第2会議室において行われ、次の11名が医学博士の学位を授与されました。

（学生課）

課程博士（4名）

吉田 将亜、山田 理大、佐藤 克彦、
横濱 洋也

論文博士（7名）

小山 聡
横山亜由美
大西 浩平
結城 幸一
羽賀 将衛
小野沢 司
佐賀 祐司



合唱部サマーコンサート

本学合唱部によるサマーコンサートが7月14日（水）午後7時30分より附属病院正面玄関ロビーにて開催されました。

きりっとした姿勢からあふれだす、澄み切った歌声と豊かなハーモニーに聞き入ったほぼ満席の会場から惜しめない拍手が送られました。（学生課）



音楽の夕べ

8月28日（土）午後2時から本学プラスアンサンブル、合唱部、ギター部、室内合奏団による合同演奏会が本学附属病院正面玄関ロビーで開催されました。

プラスアンサンブルは力強く軽妙に、ギター部は少し大人の雰囲気、合唱部は人の声の暖かさと柔らかさを、そして室内管弦楽は重厚にまたカジュアルに、四者四様、様々な持ち味を生かしながら各単独の発表会では得られない面白さを、こられていたほぼ満席の患者さんは感じておられたようです。また、演奏する学生も観衆を飽きさせないよう聴き疲れさせないよう十分配慮していたようで、聴いておられた方々にはいい気分転換と心の癒しになったのではないのでしょうか。（学生課）



やっぱりバレーボールが好き

女子バレーボール部 遠藤 寿子

旭川医科大学女子バレーボール部は一言で言えば、「バレーボール好きの集まり」である。初心者から上級者まで様々な人が集まっているが、「バレーボールが好き」という気持ちは全員に共通するはずである。

そうでなければ、はっきり言ってしまうと部活動など続けていられないだろう。夏季は週3回、冬季は週2回、試合前など週4回も練習があるのである。土日も練習があり、週に半分もの自由に使える時間が部活動に費やされるのだ。勉強にバイトに習い事にと、大学生活中にやらねばならないこと、やりたいことは他にもいっぱいある。途中で「部活などやめてしまいたい」と思うこともあるだろう。しかし、そんなときにはそれを引き止めてくれる仲間がいる。

部活動の魅力とはなんだろう。どんな部活動にも共通して言えるが、やはり最大の魅力は、人との出会いではないだろうか。部活動をやることで同学年はもちろん、先輩、後輩、顧問の先生、OG、OBの方々、そして大会などに参加することで他大学の人とまで、実に様々な

人々と交流を持つことができ、同じ喜びや悔しさを分かち合える仲間ができる。

今年度の旭川医大女子バレーボール部の大会成績は、これまでにないぐらい素晴らしいものである。春季大会では北海道大学リーグ4部昇格を決め、初出場の北日本医科学生バレーボール大会では優勝、そして、東日本医科学生総合体育大会では準優勝という結果を残すことができた。技術がある者が揃ったからというもの確かであるが、それだけではない。特に東医体に関しては、決して個々の能力が高かったわけではないと思う。継続が力となり、チームワークがその力を何倍ものパワーに変えた。そんな瞬間を体感できるからこそ、「バレーボールを続けてよかった」と思い、より一層バレーボールを好きになるのである。これからも、顧問である物理学講座教授の谷本光穂教授を始め、バレーボール部を支えて下さっている方々に感謝しつつ、練習に励みたい。



旭川医大華道部

華道部 川井えりか

ひとたばの旬の花や枝とにらめっこしながら、各々納得のいくように器に並べ、その上に小さな空間をつくり出す——それが旭川医大華道部の活動模様です。

我が部は、化学講座の中村正雄教授に顧問をしていただき、池坊華道の金井孝子先生にご指導をお願いして週に1度お稽古を受けています。今は15名ほどの部員が所属しています。

実はまだ設立から10年を数えない若い部です。ある先輩が華道に興味をもち、金井先生に相談して、立ち上げたということです。以前の部員は皆すでに卒業し、新入生と入れ替わって



いますが、現在にいたるまでずっと金井先生がボランティアで来てくださって、花を生ける楽しさを教えていただいています。

つい殺伐としがちな医学部生活ですが、華道部の活動中は、いつもと違うゆったりした時間が流れます。季節の花を眺め、どんな雰囲気になろうか思案し、生けていきます。花のいい香りがただよい、楽しい時間です。しかし、枝が四方八方に飛び出したり、あるいは花が重なりあってぎゅうぎゅう詰めになってしまったり、なかなか思うようにはまとまらないもので、自分の不器用さががっかりすることもしばしばです。そこへ先生のひと手が入ると、作品が見違えるようにすっきりした空間に早変わり。そのあざやかさには、思わずため息が出るばかりです。その、すんと納得がいったときの気分爽快感も、華道の楽しみでしょうか。

春の学祭では、部員全員が一杯ずつ生けて、来校者の方に見てもらおう華道展も開催しています。毎年たくさんの方が訪れてくださり、好評です。ときどきこのように外の人にも花に触れる楽しみを発信しながら、今後も活動を続けていこうと思っています。

更衣室・シャワー室を 物置にしないで

夏休み期間中に、男子・女子各更衣室及びシャワー室の大掃除及び体育館側の靴棚を整理しました。何年分のゴミだったので、ゴミ袋にして100袋以上のゴミが出ました。現在在学中の皆さんはこれらのゴミのために各室を十分に使用できなかったかもしれません。

さて、今度は君たちの番です。先輩たちの悪いところまでまねしないで。みんなの更衣室・シャワー室です、きれいに管理して気持ちよく使用しましょう。今後とも学生課はこまめにチェックしますので、明るく清潔な更衣室・シャワー室にご協力を。
(学生課)

職員の異動

- 辞 職 H16.6.30
法医学講座 助教授 清水 恵子
- 採 用 H16.8.1
薬剤部 助教授 田崎 嘉一
- 昇 任 H16.8.16
第二外科 講師 松田 年



窓 外

眼科学講座 教授

吉 田 晃 敏

5足の草鞋（わらじ）

—「教育」、「研究」、「診療」、
「社会貢献」、そして
「マネジメント」—

法人化後の我々の責務に、これまでの「教育」、「研究」、「診療」、「社会貢献」の四本柱に「マネジメント」が追加された。では、本当にこれら5足もの草鞋を履けるのか？ 私自身、過去に履いた草鞋を振り返ってみた。

まず、「教育」面では、授業の主役は教官と学生であると考えている。患者さんの低下した視力が、眼科の最先端手術で回復していく過程がいかにも感動的で、我々眼科医の元気の源となっているかを視覚、聴覚に訴える双方向で展開する授業をするよう心がけている。その結果、前号の「かぐらおか」に掲載されたように、学生の授業評価で去年、今年の2年連続で2位を頂いた。

また、「診療」の草鞋を履いて、眼科外科医として重症の網膜剥離、糖尿病網膜症の手術に一心不乱に、25年間打ち込んで来た。この間、ハーバード大学へ留学したり、他省庁の資金による関係研究機関等との共同研究で、「研究」の草鞋も履いてきた。さらに、旭川医科大学の高度先進眼科医療を地域へ普及させたいと考え、1993年8月に遠隔

医療を始めたが、これは「診療」でもあり、「社会貢献」でもあり、また若い眼科医に対する卒後「教育」でもある。一方、その副産物として、ユニークな「社会貢献」、北海道メディカルミュージアム（インターネット網利用の医学博物館）も生れた。さらに、G7（当時は8ではなく7）プロジェクトの指定を受け、初めて国際遠隔医療をハーバード大学と為し遂げ、歴史的国際貢献と評価を受けて、マサチューセッツ州知事賞を頂いた。

時の流れは速かった。あっという間に過ぎた遠隔医療を始めて10年目の2003年8月、突然小泉内閣の「e-Japan 戦略II」（「2005年までに日本を情報立国にする」という国策）に協力して欲しいと内閣府から依頼を受けた。内閣府発行の「時の動き」（2003年9月号）に、「世界に先がけ遠隔医療、電子カルテ伝送に取り組む旭川医大」が全国で紹介された。その後、2004年3月23日、額賀福士郎自民党政調会長（e-Japan 重点計画特命委員長）から要請を受け、自民党本部に招かれ、自民党国会議員、政策秘書、全省庁の幹部、総勢450名を対象に「遠隔医療のシステム整備支援—医療の情報化を進めるため—」の講演を行った。その直後から、各省庁から様々な問い合わせが続き、研究プロジェクトの申請打診も数多く受けた。

さて、今年から本学も国立大学法人となり、5足目の草鞋である「マネジメント」がより強く求められている。眼科の教授となって早12年。法人化のメリットを活かして眼科学教室をいかに「マネジメント」するか、日々新しい工夫と努力の連続である。

『「2足」の「草鞋を履く」』とは否定的な響きを持つ言葉であるが、法人化後の今は、5足の草鞋でもまだ足りないのが現状だ。

窓の外を眺め、6足目、7足目の草鞋を捜す情熱・志を、いつまでも持ち続けたい。